

globalforce.link 通信 [2018.3.15.]

グローバルフォース・ドット・リンク通信

(第 0080 号)



2018.3.15.

みなさま、お元気様でございます。

異文化コミュニケーション研究所(R)所長の島崎です。

東京の明治神宮にある桜の標本木の蕾があと数日で開きそうですね。

《開花宣言》なんて素晴らしい響きなのでしょう。

これから約一ヶ月、南から北に桜前線が上がっていき、満開になっていくのですからほんとうに日本は綺麗な国ですよね。日本に生まれて良かった！(^^)

■トピックス■

1. 今週のフォーカス「イノベーション」
2. 勉強会・セミナー等のご案内
3. 摩訶珍(まかちん)編集後記

11

| 1 | 今週のフォーカス「イノベーション」

U

今年(2018年)1月31日、シャープの元副社長だった佐々木正氏がお亡くなりになりました。享年102歳。世界の半導体産業の発展に貢献した方です。ソフトバンクの孫正義氏の事業の立ち上げの際に力を貸したり、アップルのスティーブ・ジョブズ氏も頼りにする程...、もしかしたら彼がいなかったら今のような世の中はなかったのかもしれない。

その佐々木氏は 96 歳で NPO 法人「新共創産業技術支援機構」を設立し、ご自身の哲学を後世に残すことに注力したそうです。

その哲学とは、

★異質の個性がぶつかる「共創」からこそ、イノベーションは生まれる★

だそうです。

3月から解禁(?)された企業説明会。型で押した様なリクルートスーツで身を固め企業回りをする大学生の様子を見ていると、背筋が寒くなります。

一人一人個性があるにも関わらず、スーパーで並んだ「パック野菜」のように、不自然に『標準規格品』を装っているこの異常さ。また採用後の入社式も『厳選規格品』の展示会のように。

これは学生が悪いのではありません。企業がそのように求めているからそうなります。

イノベーションを求めているのではなく、管理しやすさや同質の高品質を求めている。

■□

■□ 多様な異文化視点を持つ globalforce(高度外国人財)を活用する

■□ ことで、「新たな価値の創造」につなげることができます。

■□ ”globalforce”は企業にとって貴重な人財です。

■□

■□ しかし、多様性を受け入れることはチャレンジングなことです。

■□ 一筋縄ではいかない。障害物競走のように、いくつもハードルを超

■□ えて行かなければなりません。当研究所は、採用から活用に至るまで

■□ 企業のチャレンジをお手伝い致します。

「」「」「」異文化コミュニケーション研究所(R) (iCCC)

「」「」「」 <http://www.globalforce.link>

「」「」 横浜市神奈川区青木町 3-15 SSビル 201 号室

「」 Tel:045-307-8248(代) FAX:045-461-1577

「」 代表取締役社長 所長 島崎ふみひこ

(当研究所は、株式会社フィギュアネットの事業部です。)